

桜とチューリップの庭園

はままつフラワーパークにある3,000種類もの植物の中でいちばんの注目は花です。園内の花の多くは3月から6月に満開となり、「桜とチューリップの庭園」は4月初旬に見頃を迎え、1,300本ほどの満開の桜の下でオランダ産の色とりどりのチューリップが花開きます。この美しい眺めの仕上げに用いられているのは西洋芝です。この芝は日本芝と違って寒い季節にも濃い緑色を保ちます。西洋芝の鮮やかな緑が、春に咲くチューリップや桜の明るい色を引き立てます。

ヨーロッパ産の鮮やかな花と日本の可憐な桜の花の取り合わせがこれほど大規模に展開しているのは、全国でもはままつフラワーパーク以外では見られない特別な景観です。来園者は昼には桜の木の下でピクニックを楽しめますし、夜にはライトアップされた桜の木を昼とはまた違った光の中で見るができます。